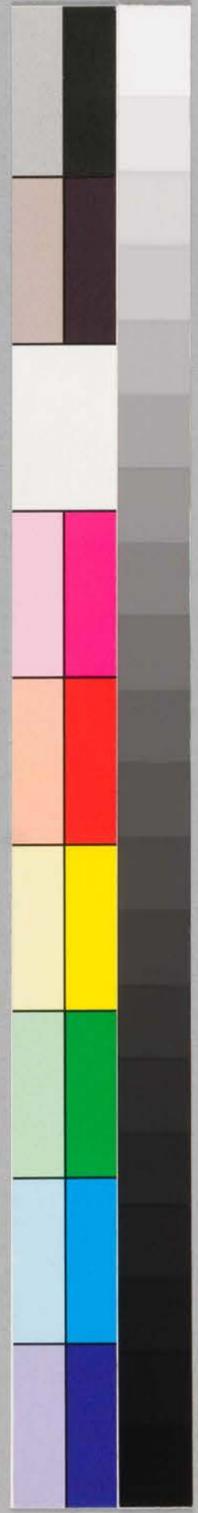




入補
小思西用記
三



小兒吐乳
乳交鼻鼻
腫病不充
け草不取

小兒心用書 育草卷三

牛山翁

香月啓益

撰

一 小兒諸病乃統 下

○小兒の病大小と形く多くハ吐乳より起ると保嬰痛子
及たり小兒氣とあまら事あらず病乃きさげと
分ゆるく多く驚死療治とべきなり 二陳湯よ加減
して用べきなり 連翹砂仁を加へく用するが如く
知く吐乳の症は氣熱虚実ととりば連翹を用
とれハを緩ゆる秘すべき事なり

○孫對微乃況小兒の我言は瘡といふ病ハは仲皆同く

一、我鳥乃口伸れあぐり、こまき胃中、吐熱毒なりと云
 つと和倍香にといひ、又ハ舌赤とぎとつふり昆布と
 玉燒め、細くゆて多るゆけ、て舌乃正甲
 をとけ、バスの玉燒、つぎとく、白こお岩とれ、愈る
 里ゆ、舌子赤む、味わき、小兒啼く、はる、せあ
 ね、あるとあわく、けく、べこ、也、か、ゆ、は、治、る、事、な、り、我、鳥
 口、疹、と、治、る、は、黃、連、と、細、末、し、く、客、ま、と、き、く、付
 れ、ハ、驗、ぬ、一、我、鳥、に、疹、子、て、小、兒、乳、と、吮、半、わ、ら、ば、治
 子、加、減、清、胃、散、と、用、べ、一、黃、芩、黃、連、升、麻
 石膏、連翹、辰砂、黃柏、生耳草、各ホ、右、細、末
 して、さ、ゆ、く、ち、ち、の、一、炙、藥、ゆ、く、ち、ち、の、一

○生、こ、子、の、後、子、上、腫、く、舌、乃、下、子、肉、出、来、る、の、あり
 室、舌、と、各、付、と、く、ち、ち、の、和、倍、子、小、舌、と、い、ふ、子、く、強、ま、き
 療、治、と、い、ふ、事、な、り、額、乃、下、乃、舌、中、子、麝、香、の、穴、と、い
 ね、わ、る、ま、い、西、子、灸、と、る、事、に、不、壯、ゆ、ぐ、ら、れ、小、舌、赤、む、り
 く、愈、る、事、な、り、秘、傳、乃、事、な、り、室、舌、乃、症、一、當、歸、連
 翹、湯、と、用、べ、一、當、歸、尾、連、翹、白、芷、各、ホ
 大、黃、其、草、右、乃、の、中、火、れ、ち、小、に、ゆ、り、く、服、と
 か、げ、ん、し、く、水、で、う、り、ゆ、て、考、べ、一、用、也、べ、一、を、驗、ぬ、一
 ○嬰、童、百、回、子、木、舌、乃、病、ハ、心、脾、乃、積、熱、れ、ち、あ、る、事
 ち、症、舌、腫、く、湖、く、子、脹、大、し、て、は、汗、子、滿、塞、を、り、室
 舌、木、舌、若、子、葉、茶、ハ、當、歸、連、翹、湯、と、用、べ、一、蒲、黃、の

これ合滞りてもむくハ鬱風ニ變ぢるなりけ病は
 ぼしわくもく鬱風とよハれ鬱竹ニまけれく瘰
 瘰癧一ハ中斷しく治せられハ瘰癧ニまけれくむ七
 目子しむとちりて年長ドく好ハ癩癩の病ニ
 多廢人ニなる者なればハ竹乃病れらむとけ病と
 第一乃重病と云ふべしなり

○鬱風始りてなり眼とんけりてハ上竅天中とて眼
 とよ乃方よりわけハ急なる時ハ牛黃清心園萬病
 解毒丹紫令珍玉樞丹と云云又ハ奇效丸奇効
 丸命藥丸至寶丹と云云茶の類ハ龍腦腐者
 どのむくハ茶ときばれく氷くぬたさめくぬた

みちちちのけとくハ湯めくぬた用ひし
 ぬたぬくしとくえく敷り種退く好葉茶と菊
 一ハ茶とよ乃方ハ醫竹乃葉子使く好
 或ハ茶肆とハ時ハ葉茶とハ潤合しとわればれ
 と求り畜へしと用意とせしとげとみとれある
 ぢぬ敷りて好ハ二陳湯ハ方前と云ハ子釣藤釣黃
 連と加く用ひし

○急路風と治るハ金匱化痰丸とハ各方ハ
 天麻 七々 南星 半夏 各二 白附子 全蝎 各二
 硃砂 礞石 雄黃 枳實 各一 珍珠 各一
 麝香 三合 槐角 七々 連翹 釣藤 各三 山查子 各一

右細末一くスカク電此熱一く重乃色はぶく
 丸と三十三枚とより核と去く中母巴豆
 と一粒つれく三十三枚名はぶく一く麦
 麩とあまこねく麩とつこ紙はみきりつと
 水はゆるしめ灰はけく煨し細乃麩
 の中乃巴豆と去く麩は肉と竹葉とことげら
 く右の細末乃茶と移りつこつは茶糊少と加て
 九ど丸葉乃重二分めく金箔と夜はかけく
 一丸は二丸を重は二丸と年乃教は重くこと
 用又生湯中用くよ一甚さ何の薄荷の湯
 まで用をよ一は方八緒の醫者よのせりつこれ

方ハ除去術乃方となすくく切減し予が家
 味より作く事右方ありく大細葉の事なす
 驗もたがられ世乃たわくのなりありとくよ
 一く物ぬ

○急驚風ハもハ大腹と下り利とけり事なし
 備急丹をく云下り茶と用り事もある急驚風
 よて危し即ハ靈妙丸と下りし南星 半夏
 各ハ 巴豆 麩と去く核よて煮て 全蝎 三五 辰砂 三五 半
 半ハ夜く 姜蚕 各ハ 大黃 二五 輕粉 五
 右細末して水糊して丸と黍乃大めして丸と用也
 或ハ客中て移りく用も有け靈妙丸乃方徳去よの

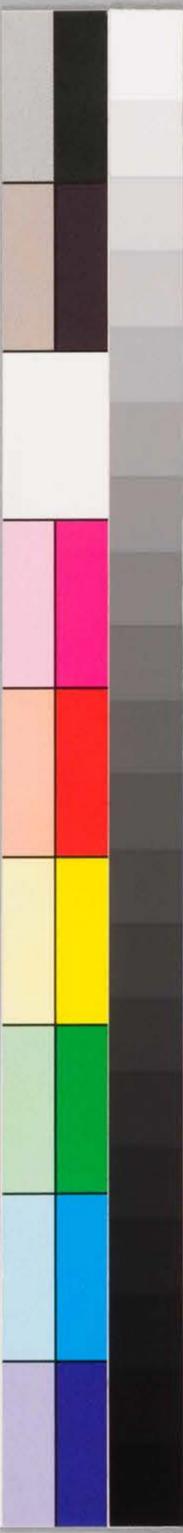
一り石病回春といはれ茶と全派湯にて用ひとあり
 と介乃まよとけ末乃茶と全派湯にて用ひとあり
 ちわやまりなりを派薄荷湯の事なり河澄の夜
 は金銀薄荷とい即全派薄荷也今家園中
 薄荷乃葉圓しく小ら其形を派派子加らる
 義なりとゆきとる薄荷乃葉湯にて用ひ事
 ありとありぬ人の重此とせんとけりて用ひ
 利は既除去用乃香とぬれ流よつまびらうり
 心切しと事なり

○急驚風愈る好調理よ六君子湯
 人参 白朮
 白茯苓 陳皮 半夏 枳實 芍藥 川芎 六君

子湯といふは人參より朝鮮人參より二重加へし
 物解鬱人參より二重加へし
 黄一用一近來京師の醫者らの比より中んま
 事と入る事とせびるれ也と付る醫者の薬乃ち付
 り事とつらとらふとせびる病家も事とつらと
 らしむるのくすのせびるを甚きもの事とつら
 事半ハ高せよは好まるといひくはせぬ醫もわら
 られ薬も事とつらの理とありぬをせよ味辛く
 しく殺殺し備る薬毒と解し水毒と解しらる
 くハ生姜乃のぬ薬とくもなれたる事ハ味甘して
 脾胃と補ひる薬と潤和らる切秘ありとてい

印さすし其さおとさしつらまらくそ又肝胃の病
浮し濕熱とせしつらまらくそ又肝胃の病
あやし此虫とせしつらまらくそ又肝胃の病
小兒吐乳之しく腫す或ハ泄瀉之しく腫す或ハ
汗之しく腫す或ハ瘰癧之しく腫す或ハ瘰癧之しく
腫す或ハ瘰癧之しく腫す或ハ瘰癧之しく腫す
と此津液かりき胃虚損トク瘰癧とせしつらまらく
るまけ病始くきざし時々荏弱乃瘰癧とせしつらまらく
眼ありく色黄のそまらくそ河へか一飛瘰癧とせ
の腫いり腫大りて跡のびく胸突おる者ハ瘰癧
らつとい病や兒毎にむれうめさうをたれ者ハ瘰癧

るくち虫と化して下りく利とせしつらまらく
醫家子候疾もみ瘰癧乃れ糸糸なり一虫とせしつらまらく
わへ同子れ求しる乃理也其糸糸あり其の類とせしつらまらく
なり蜈蚣蟻蝮赤蝦蟇柳出桑虫垣山虫山蟹桑蠅蟄
乃利と用くし虫類しそ用く利とせしつらまらく
虫の子殺蟻蝮とせしつらまらく
のた子
石麻呂一とせしつらまらく
一とせしつらまらく
やとせしつらまらく



あることありてありて腫くおとらざればを勢燧ぶぶと
 痛甚し一の色勢毒なりと云(一)和信あれとあつく
 ことひくことくもとの小葱とより爛く付せいの
 けりけり又赤小豆の粉と雞子清まけりれたるとよく
 とけて付せよ一津肝湯と用くより一は病のきけり
 あらばよく勢毒よりの醫師に頼く療治せよ一は病
 一腫よせあへく服腫脹薬よせあへく傷るがごとく
 る者ハ必死なるなり犀角消毒飲と用く一荊芥穂
 防風 黄芩 牛蒡子 各末 犀角 甘草 各末
 右利くく水煎一服一七よきと云犀角をたときい針煎
と代用せよ
 ○中兒の勢毒内んちるとん疥癬乃れ此の療とせざる中

ま一和信のせんもとの小麻葛根湯子加減一とく
 用く一 升麻 葛根 白芍薬 各末 甘草 各末
 右利くく水煎一服一とくより一連翹 黄芩 山柰
 子荊芥と加く用くはとくより一とく中兒の胎毒
 乃れ疥癬乃れ外よりつけ葉又いより葉をどつ小
 とのとの窓を中るれ必その瘡毒内よへく腫腫と
 せやく息だりくめて呼吸せまりて死らるなり或は通身
 浮腫一とく中此病とせざるなり
 ○嬰幼海子毒胸毒背乃毒ハその病根なる毒背を
 毒の背れびとく腫より上切せり頸よりりく腫く毒
 のどくあるとよ毒胸も又胸を切りよとくけり一却て

毒の形は似たりけ病ありハ痲痺ろろハ有る又初生
 の時子背と冷し或いは尾骨の如く向ぬはきよ
 志ありとわりとろりびわび必け病と生じたりと
 なるりけ病れきばりあはるる子に於ては
 とれく瘰癧と云へ治する半運せれは痲痺のせり
 子け病と和倍せりといふは和と付くは子け病
 出るるは有るは肥兒丸瘰癧積骨保骨湯
 賦しと用くを効ぬ本邦乃小兒醫所
 け病ハ骨氣乃石と云へ六味八味の地黃丸と用る
 人もあると云へ一術なるは小兒の熱はよく脾胃

を効くはが一也黄らどのれけ病れ薬とぬぬ者ら
 とも黄ら一能くゆゆぎと云へり
 ○錢仲陽乃説は小兒乃鶴膝乃病ハ足膝弱く瘦く細
 く瘰乃膝は似るると云へるは是生れつと云へ腎氣
 よりけ小兒或ハ風温とありけ病は黄らと云へり
 云へるは小兒ハ人若しけ病ハ病後ろくハ痲痺乃後
 傷定熱病の存脚より行奇小け病と云へり
 病のきざりてやなると云へるは上の子け病は瘰癧
 瘰癧と云へるは子け病と云へり
 痲痺者よりあるは防風湯と用くは
 人參 黃芪 當歸 川芎 熟地黃 白芍薬

防凡 巻論 牛膝 附子 蒼朮 草薢 芍薬
 右劑とくくす姜枣を加へて煎じ服之し鶴膝
 凡は方と申すもハ世醫凡つねに用ふる方
 ありとも愈されん張分寛ろ右帰丸左帰丸と云ふ丸薬
 なども用ひされりも効をせむに廢人とすれ共はき
 わざりしとて治とやひる難ありとあるれりし事あり
 然るにこそを治すは一以て後國日田といふありし
 爲何某とて名家ありしゆに十葉の旨は病を治す
 愈くは肺痿弱くゆけやと云ふ事ありしと一葉の
 にも珍直をいひぬる行安ぬぐくしと云ふ
 足細くありて鶴膝といふ事ありしは藥茶肥あり

滿路は治療と教へ茶方と云ふ事ありしと云ふ丸薬は
 と云ふ方といはれりしと愈る事ありしと云ふ丸薬は
 上り難波はありしと世に鳴りたる名醫より治せり
 然るに中平れども治しむるをせむる一は茶方と
 清りしむる丸薬ハ大防風湯之餘八條の地黃丸張分
 寛乃右帰丸左帰丸の外ありし方とありし事あり
 一は丸薬はありしと云ふ事ありしと云ふ丸薬は
 滋潤は足弱くはありしと云ふ事ありしと云ふ丸薬は
 志と云ふ事ありしと云ふ事ありしと云ふ丸薬は
 比ゆして中平ありしと云ふ丸薬は府治りしと云ふ丸薬は
 げ予も中平ありしと云ふ丸薬は府治りしと云ふ丸薬は

八日

一六

ちふふは降ふとゆめくけんと申津よつまきまりく予
 は信よりこびその比は免とや十に承よちりせれぜ八
 の承ぶらりれ子れごまつて頸極く背骨ゆいぬく
 ぬ長共よ鶴の足はぶくやせく肖乃十七八の推の而
 ちて産らるゆにんく後よ望深やれぬとまきくも
 されわりくはそありまらぬ長と伸を申ゆらるはた
 の長と下よる一右乃長とよまら一くおらぐくの
 こ産一よりあらうまよの長ととりくたおれけ
 てそのるは花やうれ物とまみくまよまぶくいた
 ちん長こくまきくありたおれらよたおれ長ふらひお
 くとくくる物やうれ物推いしつたるまよ申よとん

やるまぬく産又始れぐくたと下よ者とよまな
 一くおらぐくおらまらるやうまかみびく
 産人うん申とこれひくまよびく後とけん
 予脈と診一飛とんくは病治と一これ共一ぬ
 と診ぐんハ治とくぬ一ぬとぬくけ免十五
 申よぬく精守はのりくぬる勢り申よぬく金
 愈へ一そのる茶と用ばあつ使くるるべいとひく一
 方とあふ
 人参 白木 當歸 川芎 白芍薬
 黄芩 熟地黄 山茱萸 山茶 白茯苓 鹿
 角膠 鳧板 各二 熟附子 肉桂 蒼朮子 海
 桐皮 木朮 薏苡仁 牛膝 虎脰骨 穿山甲

小兒の遺尿ハ腎ノ氣膀胱ノ氣共ニ虚弱ナリ
 也ト陰去南ノ鏡ニシテノ腎ノ氣虚弱ト一膀胱ノ
 氣冷ノヲ乗ラリ時ニ必遺尿ト云レト尿管ト云
 ト且尿管ハ後ニシテノ中ノ一二ノ部ノ以何ノ也
 〇小兒ノ遺尿ハ腎ノ氣膀胱ノ氣共ニ虚弱ナリ
 也ト陰去南ノ鏡ニシテノ腎ノ氣虚弱ト一膀胱ノ
 氣冷ノヲ乗ラリ時ニ必遺尿ト云レト尿管ト云
 ト且尿管ハ後ニシテノ中ノ一二ノ部ノ以何ノ也



小児用証卷三

一七

○五倍子の皮子歯のころ中 透ハ腎に石をちり
 ころり丹溪の草黄散より
 當散 白芍 甘草 各二錢 右ゆきく歯
 牙よりわぶし 湯を少許で服
 一ちがよきらや

○小兒停取の症とて耳より膿と出く痛
 ここの河を和倍耳だれとふけ症はくハ脾胃乃
 此傳るよりくなり 葎草 正氣散と角く
 卵より付茶をくも 醫者のものをこれに強す
 一のちま五倍子とち焼しと 烟麻のゆせとて
 取のゆに入らぐよたし

○五倍子の皮子小兒ハ八葉十葉といふ中あり
 くる二千二百の一葉とく 葉少出く 氣とあや
 しくなりきつとゆれどく 一葉一葉よあやど
 にかんちと熱し 相とるま 智あはく 智あま
 葉のぶく 二千二百六十とく 叶とく 五葉とる
 葉蒸乃半とりく 物とひあく 空はさるり
 一と和倍とれと智あ熱とつあるがらよ二千二百
 よハ葉とけの半ハ葉と用るよ及び生さるる
 んち小兒の製蒸のきばく わわ外みん又
 小兒よりくそのわくハ必熱し 出くが
 わるとはれ一あるとれと熱さむるものちま治

小治政用証書

十一

てらるゝゆへに日と終るを待申せ被ははるゝしそ
類しき時病と云はるゝ瘧疾と云ふ事あり

○小兒の諸病大人は勢半なり上より下此病を
とらるゝ小兒は下より上と云はるゝと云はるゝ
と云はるゝ一類の病はそれこれ醫者なる病門と云ふ事あり
瘧疾と云ふ事ありその内小兒を用てわらるる業
と云ふ事あり

○小兒の風と云はるゝは惺惺散より
白朮 白茯苓 桔梗 枳實根 細辛 薄荷 各半
甘草 芍薬 右水煎し一服と云ふ一咽痛固乾と云
ハ葛根と云ふ熱甚き時葛根と云ふ瘧疾乃瘧疾

と云ふ事あり何ハ連翹升麻葛根と云ふ嘔吐
泄瀉吐乳と云ふ事あり半夏陳皮連翹と云ふ何ハ
枳實根と云ふ一小兒の風と云ふ事あり

○小兒驚おろく風を合降及合ぐは時を加減
心氣散より一 藜香 白朮 厚朴 陳皮 白
茯苓 大腹皮 桔梗 白芷 甘草 芍薬 黃芩
右一劑と云ふ事あり
右一劑と云ふ事あり
右一劑と云ふ事あり
右一劑と云ふ事あり
○小兒脾胃弱きより泄瀉と云ふ事あり
と云ふ事あり

小兒儀氏の七葉白朮散と申すは、
陳は砂仁白扁豆と加へて用へば、
腹瀉と云ふは、
○小兒泄瀉は、
腹瀉と云ふは、
腹瀉と云ふは、

澤瀉 白茯苓 芍薬 白朮 茯苓 肉桂 猪苓
甘草 右利とて、
○小兒脾胃虚弱、
腹瀉と云ふは、
腹瀉と云ふは、

人参 白朮 白茯苓 山茱 白扁豆 蓮肉 括樓
砂仁 黄芩 仁 砂仁 甘草 右利とて、
○小兒脾胃虚弱、
腹瀉と云ふは、
腹瀉と云ふは、

と加へて用へば、
○小兒脾胃虚弱、
腹瀉と云ふは、
腹瀉と云ふは、

○小兒脾胃虚弱、
腹瀉と云ふは、
腹瀉と云ふは、

○小兒脾胃虚弱、
腹瀉と云ふは、
腹瀉と云ふは、

○小兒脾胃虚弱、
腹瀉と云ふは、
腹瀉と云ふは、

